

四宮さま



平成二十九年

赤田神社遷座一、三〇〇年

赤田神社は、今から約一九〇〇年前に、中村町内に神様をお祀りしたことに始まります。

その後、西暦七一七年に、中村町内から現在の赤田町内に神社が遷されました。これを遷座と言います。

平成二十九年は、遷座からちょうど一三〇〇年の節目の年にあたります。

神社では、平成二十九年に式年大祭

を催行するほか、併せて、記念事業の実施を計画しています。

具体的内容については、奉賛会を組織して、検討していくこととなりますが、今年度中に奉賛会が発足できるよう準備を進めていきます。

具体的な内容が決まりましたら、社報等を通じてお知らせしますので、ご協力くださいますよう、よろしくお問い合わせいたします。

良城神社 慰霊祭

戦没者に捧ぐ

コーラスyui

去る四月十九日、良城神社で慰霊祭が行われました。この日は、良城神社の例祭にあたり、昔から慰霊祭が行われてきました。

良城神社は、良城小学校の西約百メートルの小高い丘の上にあります。慶応二年（一八六六）十一月、吉敷

毛利家第十三代毛利元潔公により建立された招魂社にはじまり、幕末、維新から先の大戦までの吉敷地区出身の戦没者をお祀りしています。

九時に神事が始まりました。官司が祝詞を奏上。続いて、吉敷地区遺族会会長佐藤忠義さんが慰霊の詞を奏上しました。

次に、吉敷地区で活動されているコーラスyuiの皆さんにより、次のようなメッセージを添えて「ぜんぶ」という歌の奉納がありました。yuiのみなさんの歌声は、苔むす墓碑に染み

入るように響き渡り、すべてを包み込み、いたわりに満ちあふれたものでした。

《Yuiを代表して、宗像さん（東）からの戦没者へのメッセージ》

私は吉敷に生まれ育ち、吉敷で子育てをしています。

その間に吉敷の人口はどんどん増え、たくさんの方が移り住んでいます。

昔の吉敷を思い起こして、吉敷を離れた方々も時々帰って来られます。

そんな吉敷を愛し、守って下さった方もたくさんいらっしゃると思います。

日本を、山口を、吉敷を守ろうと命をかけて戦って下さった皆様のおかげで今の住みよい平和な吉敷があるのでしよう。

ありがとうございます。

この山やその川など、変わっていない自然も有ります。

多くの愛する人もここに居ます。大切なことはぜんぶここにある。

♪ ぜんぶ

この地を守って下さった多くの方々にこの歌を捧げます。

